

主催：立命館大学国際言語文化研究所
協力：立命館大学国際言語文化研究所プロジェクト A3

国際安部公房ワーク・ショップ

崇高な声が聞こえる —安部公房文学の現在—

日時：2011年3月7日(月)14:00-18:00

場所：末川記念会館 1階 第3会議室

使用言語：日本語(英語・フランス語)
参加無料

プログラム

14:00～14:10 挨拶 チャールズ・フォックス(立命館大学)

14:10～14:30 発題 クリストファー・ボルトン(ウィリアムズ・カレッジ)

14:30～17:30 ワーク・ショップ

司会 中川成美(立命館大学)

パネラー ジュリー・ブロック(京都工芸繊維大学)、ジュリエット・カーペンター(同志社女子大学)
スティーブ・ドッド(ロンドン大学)、アンドリュウ・ホルバート(スタンフォード日本センター
所長)、内藤由直(立命館大学)、坂堅太(京都大学大学院)、鳥羽耕史(徳島大学)、
友田義行(立命館大学)

開催趣旨

安部公房は文学が持つ可能性を、あらゆる領域から挑戦し、拡張した。いま、彼の足跡をたどると、そこには求心力に満ちためぐるめくテキストが巨塔の様に聳え立つ。世界が共有する安部の様々な形態のテキストをめぐる冒険を試みようというのがこの国際ワーク・ショップのもくろみである。2009年に“Sublime Voices: The Fictional Science and Scientific Fiction of ABE KÔBÔ”を上梓したクリストファー・ボルトン氏を発題者に、フランス、アメリカ、イギリスから安部研究の一線を担う日本文学研究者・翻訳者、また日本の中堅・若手の研究者が一堂に集い、安部研究の現在と未来を考えてみたい。

問い合わせ 立命館大学国際言語文化研究所 TEL: 075-465-8164
e-mail: genbun@st.ristumei.ac.jp